

新製品 新技術紹介

『F-SINKER』

松村 光崇

東海イオン株式会社 取締役

〒454-0876

名古屋市 中川区 若山町3-40

TEL: 052-362-0750

URL: <http://www.tokai-ion.co.jp>



【開発の概要】

コロナの影響によりアウトドアブームが起き、アウトドアである釣りの人口が大きく増加した。人口が多くなった事で釣り場が汚され、メディアでも報じられ社会問題になっている。その問題に様々な企業が清掃活動を行い、環境保全に努めている。しかし水中では清掃活動は実質上不可能である。ある釣り場では水中調査で1年間に1万個の釣り道具が回収されたと報告がある。ということは全国で数百万個という数の釣り道具が水中に残存していると予想される。

釣りは通常、糸に針と餌又は疑似餌(ルアー)とオモリを使用して釣りを行う。使用する釣り糸は材質にフロロカーボンなどが使用され、疑似餌(ルアー)には、マイクロプラスチックや化石燃料を使用、オモリは鉛やタンゲステンを使用されている。社会的に問題になっている材質が使用されていることが多い。

弊社は環境に良い材質で釣り道具

が作れないかと考え釣り事業部を充足し、鉄製のオモリであるF-SINKERを開発した。

【製品の特長と今後の展開】

F-SINKERの1番の特長は、鉄製で出来ており、水中に残存しても錆びる事で土に還ることが1番の特長である。但し、使用中に錆が発生してはならないので、使用中は錆びず水中に残ってから錆びる様に、表面被膜が成膜されている。また最近の研究では、水中に残り錆が発生する時、二価鉄イオンが溶出される事が分かった。

この二価鉄イオンが、プランクトンが食べるリンと結合しリン酸鉄に変わり、プランクトンの増殖を抑えることが出来るため赤潮発生の抑制に繋がる事が分かった。また二価鉄イオンは水中の酸素と結合すると水酸化鉄に変わり、水中のヘドロを分解する作用があると知られている。さらにヘドロから発生する悪臭の原因である硫化水素に結合する事で硫化鉄に変わり、消

臭効果もあることが分かった。環境を悪化させないだけでなく、環境を改善する作用をも持ったオモリである。

また弊社の独自技術で、製品に集魚性のある匂い成分を浸透拡散させることで、水中で匂い成分が溶出する事で釣果をアップする世界初の匂い付きシンカーである。

匂いの継続時間は、検査機関の結果では、2時間ほど継続する結果データが出ている。

未来の釣り、未来の自然を守っていくために沢山の商品を生み出し広めていく予定である。

